

## 平成 26 年度 第 1 回 理事会 議事録

開催日時 : 平成 26 年 5 月 30 (金) 18 : 30 から 21 : 30

開催場所 : 岐臨技事務所

出席者 : 北村、石郷、永井、近藤、兼子、鈴木、臼井、木村、川島、松浦、太田、  
渡辺、西山、深川、糸山、池田、黒木、諏訪、酒井、篠ヶ瀬 (20 名)

欠席者 : 野久、神谷

議長 : 北村 顕

議事録署名人 : 西山紀郎、兼子 徹

### 1.各種連絡事項

- ・岐阜市より法人市民税均等割減免決定通知書が届いた。(法人市民税均等割額 50、000 円、減免額 50、000 円)
- ・武儀医師会より講演会後援依頼の文書が届いた。(平成 26 年 9 月 23 日 関市文化会館 がん検診の現状報告、講演「マラソンと健康」東国原英夫氏)
- ・日臨技より生涯教育推進研修会助成金コース選択についての文書が届いた。
  - 1)研修会毎に最高 5 万円の助成金、最大で 20 研修まで助成する (昨年同様)
  - 2) 研修会毎に 2 万円及び参加人数 (最大 60 名) ×500 円 (最高 5 万円)、最大で 20 研修会まで助成する。近藤部長より 1) を選択するとの意見があった。
- ・日臨技より都道府県技師会主催「新入会員研修会」助成金のご案内の文書が届いた。
  - 1) 新入会員研修会開催助成金の目的:新しく日臨技会員となった臨床検査技師に対して日臨技会員として必要な知識を伝達し、今後積極的なかわりをもって活動してもらうために行った研修会に対し助成する。2) 支給対象となる研修会の内容:各都道府県で実施しているものに、次の内容を加える。①日臨技の概要(沿革、定款と諸規定)②主な日臨技事業の紹介(学術、公益)③日臨技からの情報伝達手段(ホームページの活用方など)なお、説明時間は1時間以上とする。3) 研修会開催のための準備:①助成金に関する事業執行については、原則として、事前の申請書が必要ですが、事務処理の簡素化を図るため、この研修会は事前の申請を不要とする。②研修会の開催にあたり、講師派遣や資料等を必要な場合は、事前に事務局へ相談する。(現在、研修会用 DVD 作成中)4) 助成金支給額について:この助成金の支給は各都道府県あたり 1 回とする。助成金支給額は 1 万円および新入会員一人当たり 500 円とする。5) 助成金支給方法:①研修会終了後速やかに次の書類を事務局に提出。(ア:実施報告書イ:参加者名簿)②報告書受け取り後、各都道府県に 1 万円および、500 円×新入会員人数分(平成 27 年 1 月末日時点)の助成金を支払う。

- ・日臨技より、平成 26 年度助成金についての文書が届いた。
  - 1：臨床検査データ標準化事業助成金
    - \*標準化事業助成金（4 万円）\*基幹施設助成金（3 万円×基幹施設数）\*基準施設助成金（3 万円×基準施設数）
  - 2：施設認証事業作業事務助成金ならびに作業事業委託費
    - \*事務委託費として1施設あたり2千円
  - 3：公益目的事業
    - \*検査と健康展1事業最大50万円（検査と健康展の中で従来のがん、STIを行った場合もこの金額に含む）
  - 4：「生涯教育推進研修会助成金」
    - 実施内容1、緊急 2、基礎技術 3、検査説明 4、味覚臭覚（DVD作成を含む）1、2、4については各都道府県主催の研修会を申請していただき、理事会で承認された研修会は、1研修会につき、定額2万円及び参加者1人あたり500円、最高600人まで（最大5万円）を最大20研修会までとし、助成を行う。3については1開催あたり20万円及び参加者1人あたり1,000円として助成する。
  - 5：新入会員に対する研修会開催に伴う助成金
    - 県技師会へ対する助成金として参加者の数に応じて1技師会1万円及び新入会員1人あたり500円を助成する。
  - 6：総会委任状回収助成金
    - 総会委任状の回収1名及び出席者数に対して1名あたり50円を助成する。
- ・日臨技より「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」実施要領が届いた。
- ・日臨技より「日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム（JAMTQC）」を使用して都道府県技師会精度管理調査を実施する際の使用申請書の変更についての文書が届いた。多和田部長より、申請済との報告があった。
- ・日臨技より日臨技認定センター「認定心電検査技師制度」についての文書が届いた。
- ・日臨技より日臨技認定制度 認定更新指定研修会の登録申請についての文書が届いた。
- ・日臨技より日臨技総合監理検査技師制度 第3回認定管理検査技師コース（平成26年度）受講申請書受付締切日の延長についての文書が届いた。
- ・日本糖尿病療養指導士認定機構より、日本糖尿病療養指導士の認定更新に関するお願い（研修会等開催時の「参加証等」の発行について）の文書が届いた。
- ・日本臨床検査技師連盟より新年度都道府県連盟執行委員について（お願い）の文書が届いた。北村会長より、現在は北村会長が委員として入っている。2～3名選出したい旨発言があった。
- ・岐阜県健康福祉部医療整備課長より、厚生労働省医政局長通達「臨床検査技師等に関する法律第二十条の三第一項に規定に基づき厚生労働大臣の定める施設の一部を改正する件の施行についての文書が届いた。

## 改正の趣旨

日本再興戦略（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）等において、国民の健康寿命を延伸する産業の創出に取り組むこととされているところ、近年見られる、利用者自らが採取した血液について民間事業者が血糖値や中性脂肪などの生化学的検査を行うサービス（以下「簡易な検査」という。）については、診療の用に供する検体検査を伴わないことから、診療の用に供する検体検査の適正の確保という衛生検査所の登録制度の趣旨を踏まえ、今般、簡易な検査を行う施設について、衛生検査所の登録を不要とすることとした。

北村会長より、日臨技としては、反対していく。ただ、国会議員がいないので難しいことではある。との発言があった。

以上、確認・承認された。

## 2. 各地区報告

岐阜地区：第 35 回岐阜市民健康まつり第 1 回運営会議出張届け及び復命書が提出された。

西濃地区：平成 26 年度岐阜県医学検査学会の予算書が提出され、川島理事より説明があった。収入：180,000 円、支出：416,758 円

松浦理事より大垣健康ひろばについて報告があった。11 月 19 日開催。参加型血管年齢、骨密度を予定。臼井理事が見積もり中。

飛騨地区：第 52 回岐阜県医学検査学会の報告が、黒木理事よりあった。参加者：一般会員：91 名、賛助会員：16 名 市民公開講座：一般市民：19 名

会計報告：収入：257,000 円 支出：482,382 円

秋期拡大研修会 11 月 6 日（日）下呂交流会館予定。11 月 6 日は中部圏学会と重なるため、日程を再検討する。

以上、承認された。

## 3. 各部報告

学術部：近藤部長より報告があった。

岐阜県合同輸血療法委員会委員の推薦について、輸血研究班班長の八木良仁技師を推薦した。日臨技生涯教育推進事業で「岐臨技血液部門別研修会」「岐臨技新人サポート研集会」「岐臨技春季拡大研修会」「臨床微生物部門研修会」「輸血部門研修会」の 5 件が採用された。愛知県臨床検査技師会主催で開催される「新人サポート研修会」「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」の 2 件の研修会に岐臨技より森さゆり技師を派遣することとした。日臨技認定センターより「認定病理検査技師制度指定講習会」実施要領が届いた。人員を学術部長と病理・細胞検査研究班班長とで調査し、該当者をピックアップし、会長へ上げ推薦してもらうこととする。

以上、承認された。

精度管理事業部：多和田部長より報告があった。

JAMTQC の使用：日臨技承認済み。精度管理参加施設：57 施設

メーカーはアルフレッサ日建。販売：精度管理試料セット 10,000 円＋消費税  
Web 以外の受付も代理入力で受ける。(手書きでも参加出来るようにしたい)  
日臨技標準化の動き：5 月 11 日全国代表者会議。基幹施設の負担軽減 (年 2 回)  
施設認証取得状況：岐阜県で 17 施設 標準化事業部と精度管理事業部の統合。今後の  
試料のメーカー委託。精度管理調査の年 2 回を検討。精度管理調査試料申込書にて  
メーカーより購入。

以上、承認された。

組織調査部：臼井部長より報告があった。

役員選挙規定の最終案を確認。

以上、承認された。

広報宣伝部：木村部長より報告があった。

会報 28 号出版 原稿は常務理事。次回は会長、石郷副会長、西山庶務部長。

以上、承認された。

法人対応部：鈴木部長より報告があった。

4 月 1 日付けで一般社団法人として登記完了。県医療整備課へ手続き完了。6 月末に 25  
年度の公益目的支出計画を提出。6 月 1 日の総会にて承認後申請する。

以上、承認された。

会計部：兼子部長より報告があった。

報告事項、特に無し。

庶務部：西山部長より報告があった。

総会役員の役割分担

開会の辞：永井副会長・司会：西山庶務部長・議長：川島理事、松浦理事・書記：西山  
庶務部長、糸山理事、資格審査委員兼議事運営委員：岐阜 (深川理事・太田理事) 西濃  
(関技師) 中濃 (池田理事) 東濃 (篠ヶ瀬理事) 飛騨 (黒木理事)・議事録署名人：北村  
会長、酒井理事・閉会の辞：石郷副会長

以上、承認された。

#### 【議長】

- ・閉会の辞
- ・これで第 1 回の理事会を終了します。

以上。

議 長

兼子 徹



議事録署名人

渡辺 新司



議事録署名人

太田 義和

